



株式会社アドバンスト・メディア

平成29年3月期第2四半期

決算説明会資料

2016年11月8日



Advanced Media, Inc.

見通しに関する注意事項

- 本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。
- その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 業績の概況

取締役 経営管理部長
立松 克己



1-1. 連結損益計算書

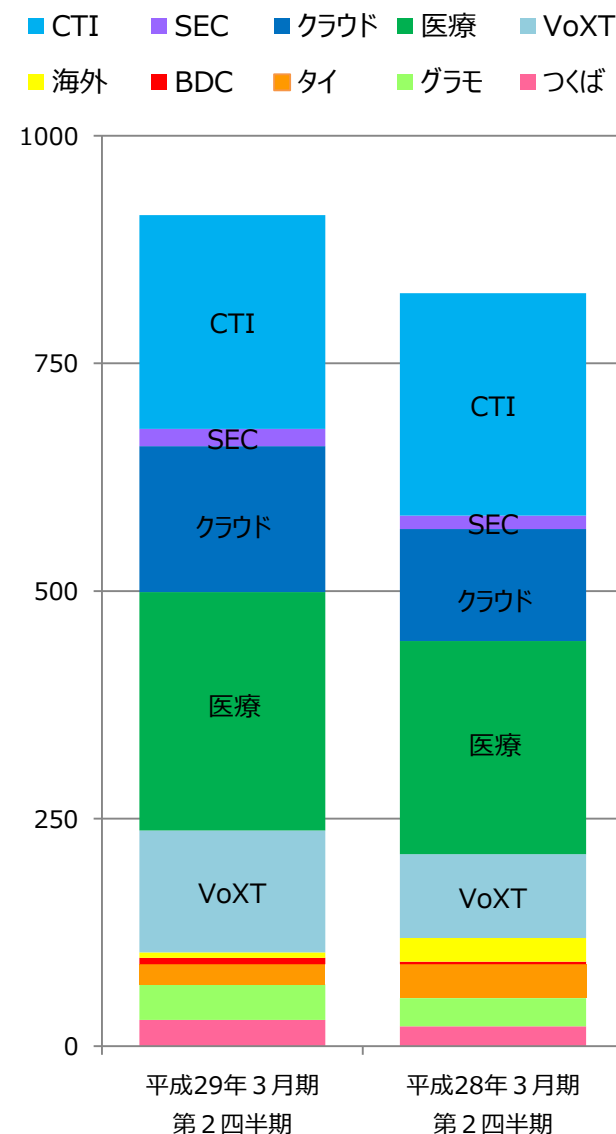
単位：百万円

	平成29年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		対前年増減		主な要因
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	
売上高	912	100.0%	824	100.0%	88	10.7%	ほぼすべての事業部門および子会社で当初計画通りに推移
原価	340	37.3%	292	35.4%	48	16.4%	
売上総利益	571	62.6%	531	64.4%	40	7.5%	ほぼ計画通りに推移
販売管理費	841	92.2%	852	103.4%	-11	-1.3%	ほぼ計画通りに推移
営業利益	△269	-29.5	△320	-38.8%	51	-	
経常利益	△563	-61.7	△200	-24.3%	-363	-	為替差損293百万円を計上
四半期純利益	△548	-60.1	△19	-2.3%	-529	-	(前期：外国債券の売却による特別利益193百万円計上)

1-2. 分野別の売上実績

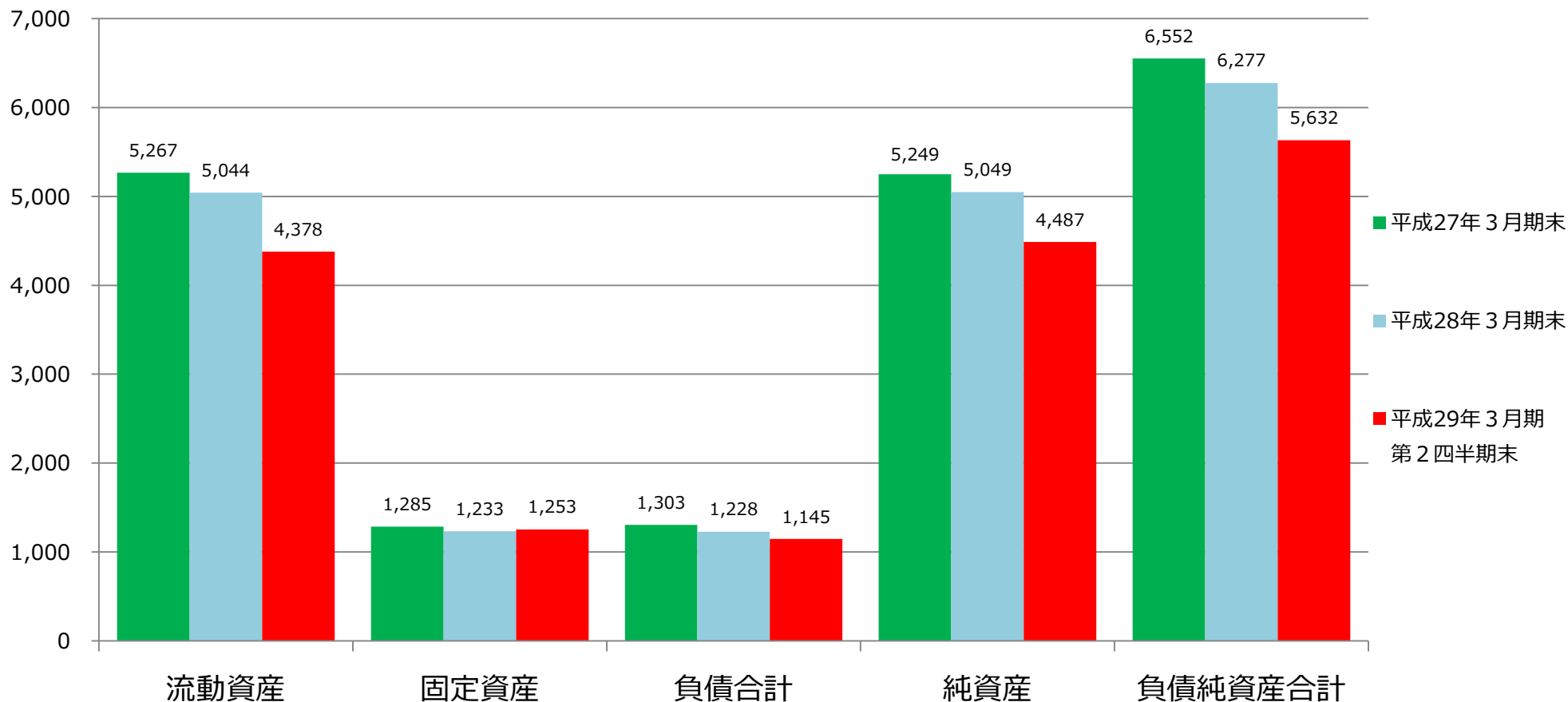
単位：百万円

		平成29年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		対前年増減	
		金額	比率	金額	比率	金額	比率
CTI事業部		235	25.8%	244	29.6%	-9	-3.7%
SEC事業部		19	2.1%	15	1.8%	4	26.7%
クラウド事業部		160	17.5%	123	14.9%	43	30.1%
医療事業部		262	28.7%	234	28.4%	28	12.0%
VoXT事業部		134	14.7%	92	11.2%	42	45.7%
海外事業部		6	0.7%	26	3.2%	-20	-76.9%
ビジネス開発センター		7	0.8%	3	0.4%	4	133.3%
連結子会社	AMIVOICE THAI	22	2.4%	37	4.5%	-15	-40.5%
	グラモ	39	4.3%	31	3.8%	8	25.8%
	速記センターつくば	29	3.2%	25	3.0%	4	16.0%
連結調整		-5	-0.5%	-10	-1.2%	-5	-
合計		912	100.0%	824	100.0%	88	10.7%



1-3. 連結貸借対照表

単位：百万円

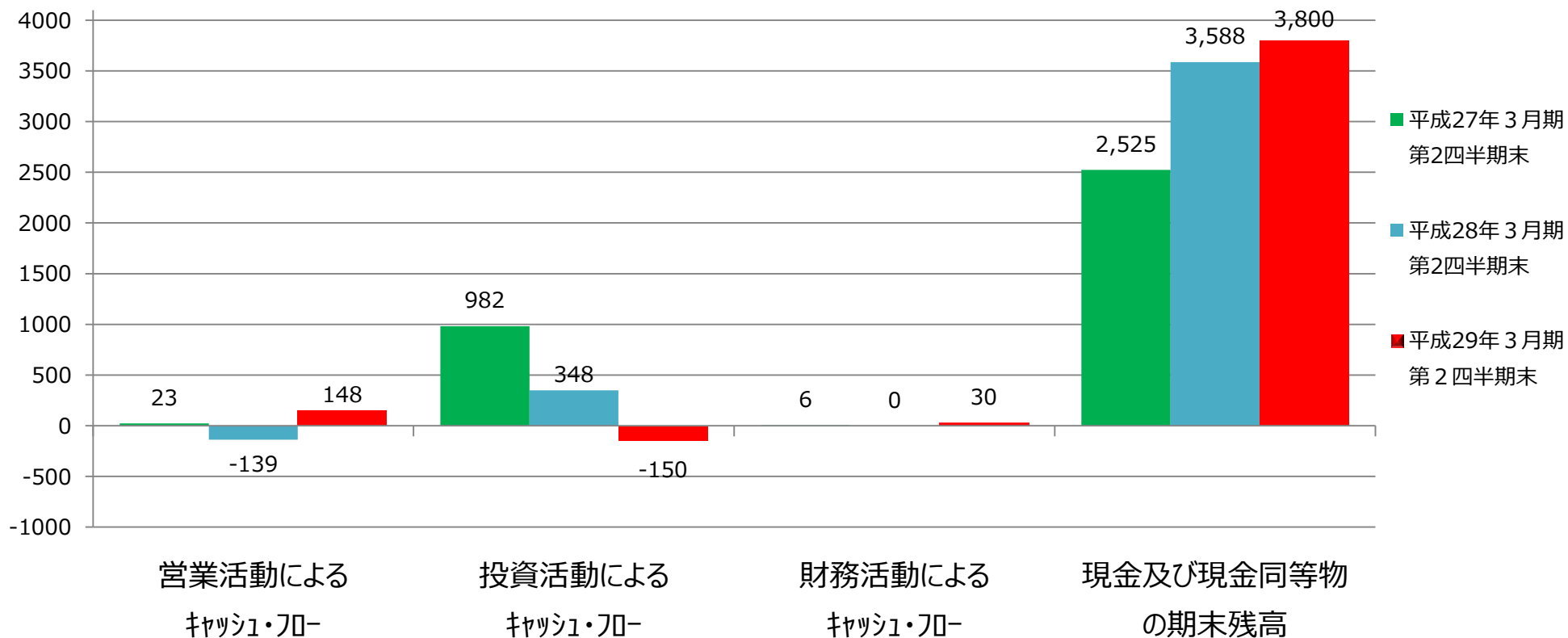


増減の要因

- 流動資産：現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少

1-4. キャッシュフロー計算書

単位：百万円



増減の要因

- 営業活動：売上債権
- 投資活動：無形固定資産および投資有価証券の取得
- 財務活動：非支配株主からの払込

1-5. 業績予想の修正

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

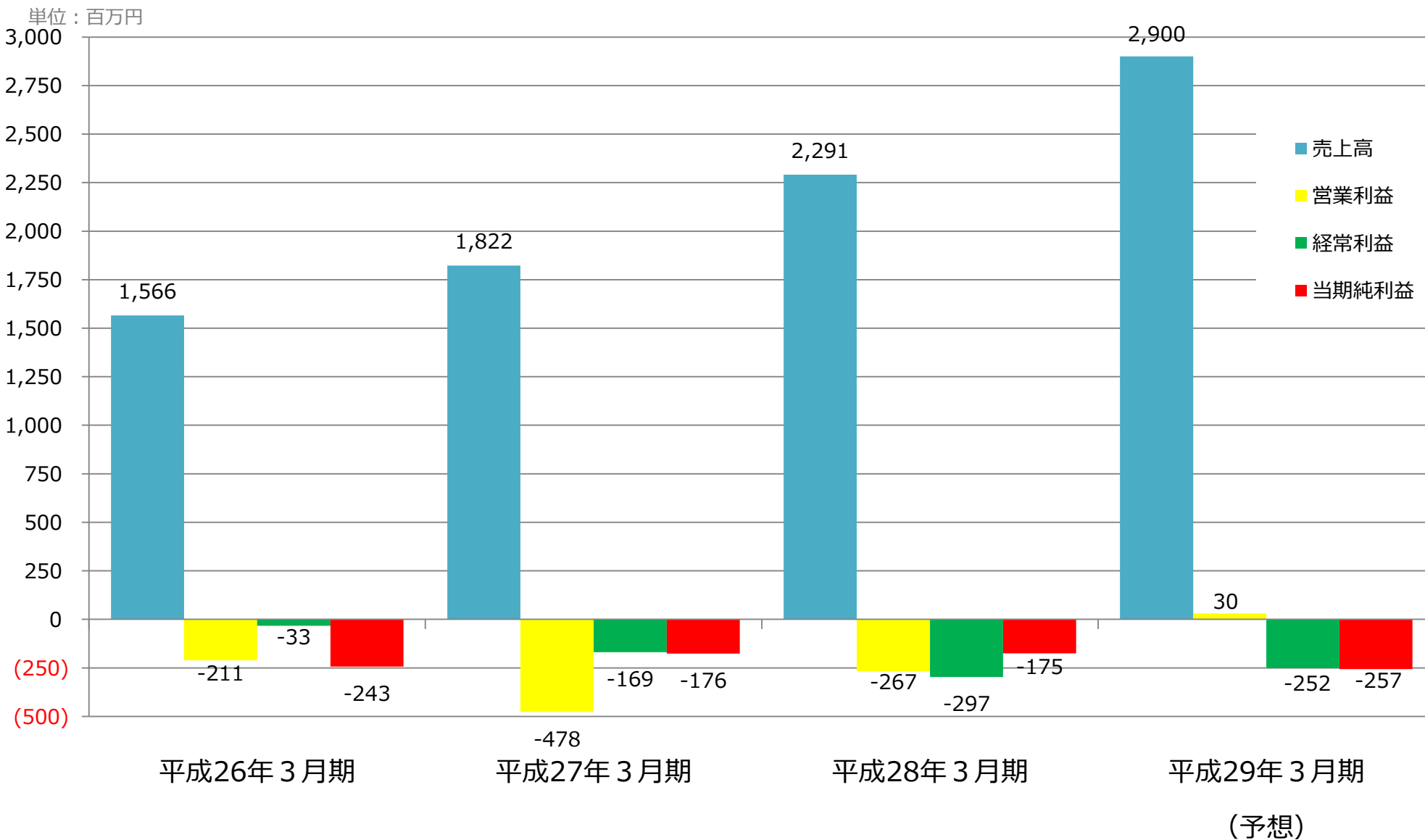
【平成28年10月25日開示】

期初に設定した為替レートを上回る水準で円高が進行しているため、現状の為替レート等を勘案した結果、平成29年3月期通期連結業績予想数値を修正。

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	2,900	30	△90	△95	△5.96円
今回修正予想（B）	2,900	30	△252	△257	△16.13円
増減額（B－A）	0	0	△162	△162	－
増減率（％）	0	0	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	2,291	△267	△297	△175	△11.03円

1-6. 業績の推移および今期計画



2. 事業展開の概要

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸



2-1. 事業拡大の取り組み

既存コア事業のさらなる成長

成長エンジン

1

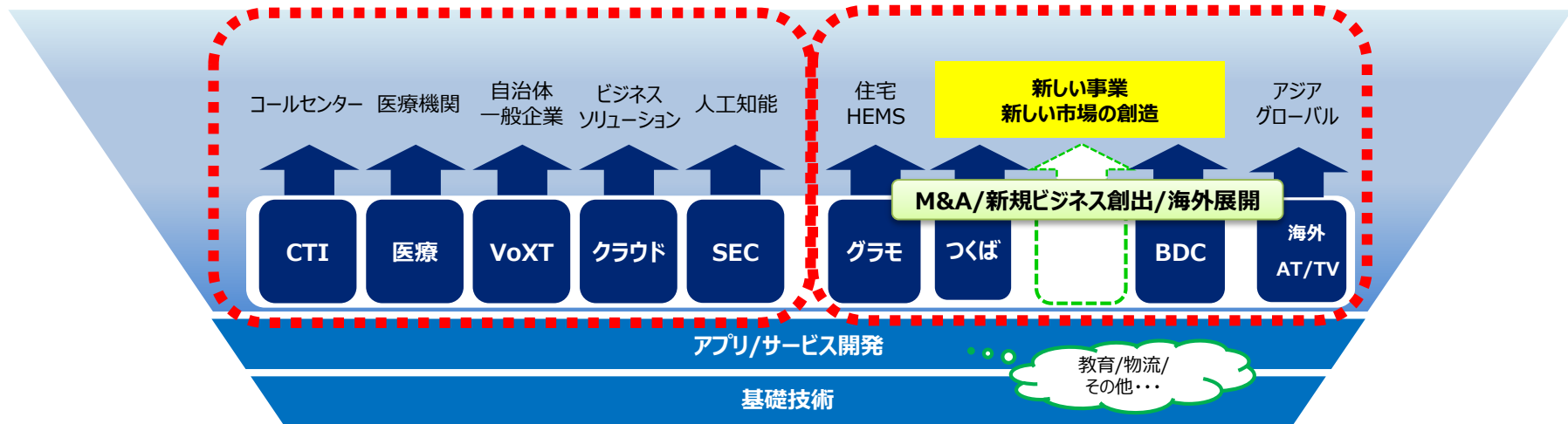
CTI事業／医療事業／VoXT事業
クラウド事業／SEC事業

新規ビジネスの創生・M&A・海外事業

成長エンジン

2

ビジネス開発センター／海外事業
AMIVOICE THAI／グラモ／速記センターつくば

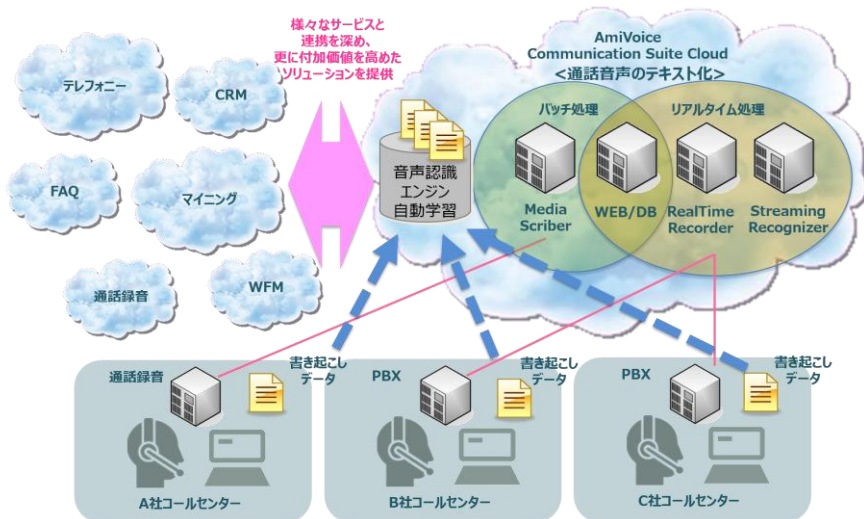


飛躍的な売上増により、『営業利益の黒字化から増大』へ

2-2. 事業トピックス①

CTI事業部

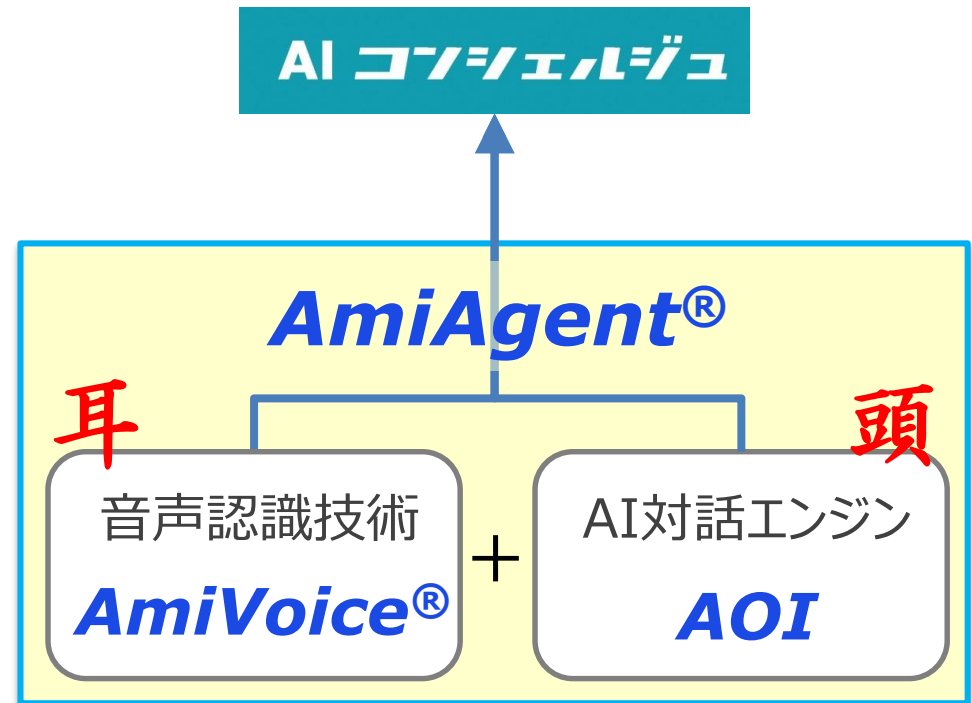
- コールセンター向け音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite2**」を拡販した。
- クラウドサービス「**AmiVoice® Communication Suite Cloud バッチ版**」をサービス開始した。



SEC事業部

- AI対話関連の拡販と技術強化を行った。

例. 株式会社U-NEXTマーケティングのコンタクトセンターサービス「AIコンシェルジュ」に、**AmiAgent®**を提供



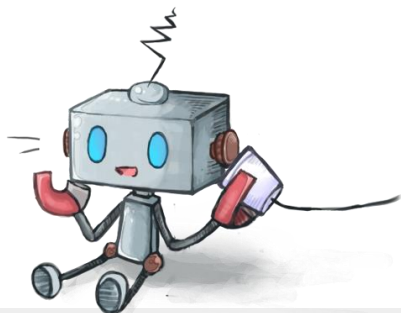
2-3. 事業トピックス②

クラウド事業部

- 製造物流分野における音声認識ソリューションの販売が堅調に推移した。



- ロボット向け音声認識開発キット「AmiVoice® Robot SDK」のサービス開始に向けて企画・開発を推進した。

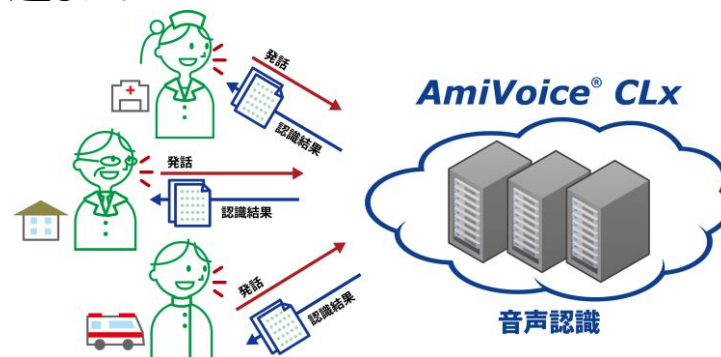


医療事業部

- 薬剤師の調剤や服薬指導を声により効率的に記録する調剤薬局向けパッケージ製品の販売が堅調に推移した。



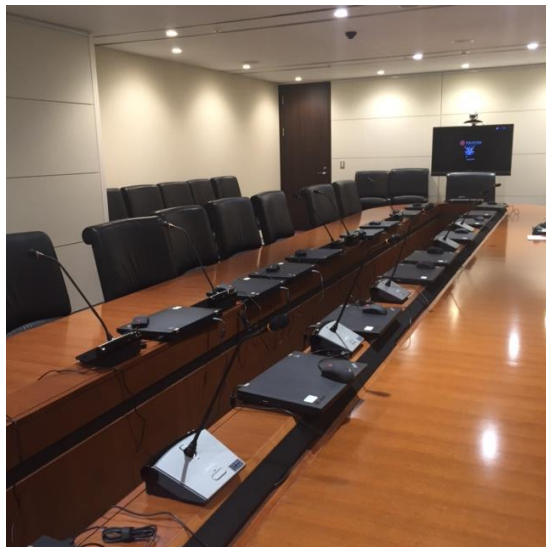
- 医療・調剤・介護向けのクラウド型音声入力サービス「AmiVoice® CLx」の拡販に向けたパートナー戦略を推進した。



2-4. 事業トピックス③

VoXT事業部

- テレビ局や新聞社などの報道機関にも導入が広がる。
特に、取材音声や映像の文字起こしニーズが顕在化した。
- 自治体導入実績が累計100件を突破した。
- 民間のコスモエネルギーホールディングスに導入された。



海外事業部

- コールセンター向け音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite2**」の中国語版が、台湾の大手生命保険会社に導入され、実運用が始まった。

ビジネス開発センター

- 音声認識を活用した建築検査ソリューション「**AmiVoice® スーパーインスペクター** (建築仕上げ検査用)」のユーザー数を増やした。



2-5. 事業トピックス④

連結子会社（AMIVOICE THAI）

- ▶ タイ大手通信事業者のTrue グループとの事業展開が遅延し当初計画を下回る。

連結子会社（つくば）

- ▶ 自治体向け案件および民間向け案件の受注と売上は当初計画通り。

連結子会社（グラモ）

- ▶ スマートフォンによる家電制御機器「iRemocon」をベースに、株式会社レオパレス21と「Leo Remocon」を共同開発し、レオパレス21の新築全戸に標準装備が決定
- ▶ ソフトバンクコマース&サービス株式会社とスマートメーターと連携し30分毎の電気の使用量/料金を確認することができるHEMS「iRemocon Wi-Fi (SM)」を共同開発し販売を開始



- ▶ 6月に第三者割当増資を行い3千万円を資金調達（引受先：日本ベンチャーキャピタル株式会社が無限責任組合員を務めるNVCC7号投資事業有限責任組合）

2-6. 資本・業務提携

イスラエルのテクノロジーベンチャーであるAudioBurst Ltd.との資本・業務提携

- AudioBurst Ltd.との間で資本・業務提携を行い、平成28年10月25日付で出資に関する払い込みが完了



&



音声分析・蓄積・検索テクノロジー

“Beyond ASR”

- 音声認識を超えた価値の提供（第5世代：超音声認識）
- オーディオに含まれる言語情報からテキスト、動画などを検索

2-7. 音声認識市場が拡がり始めた

※2016年9月現在

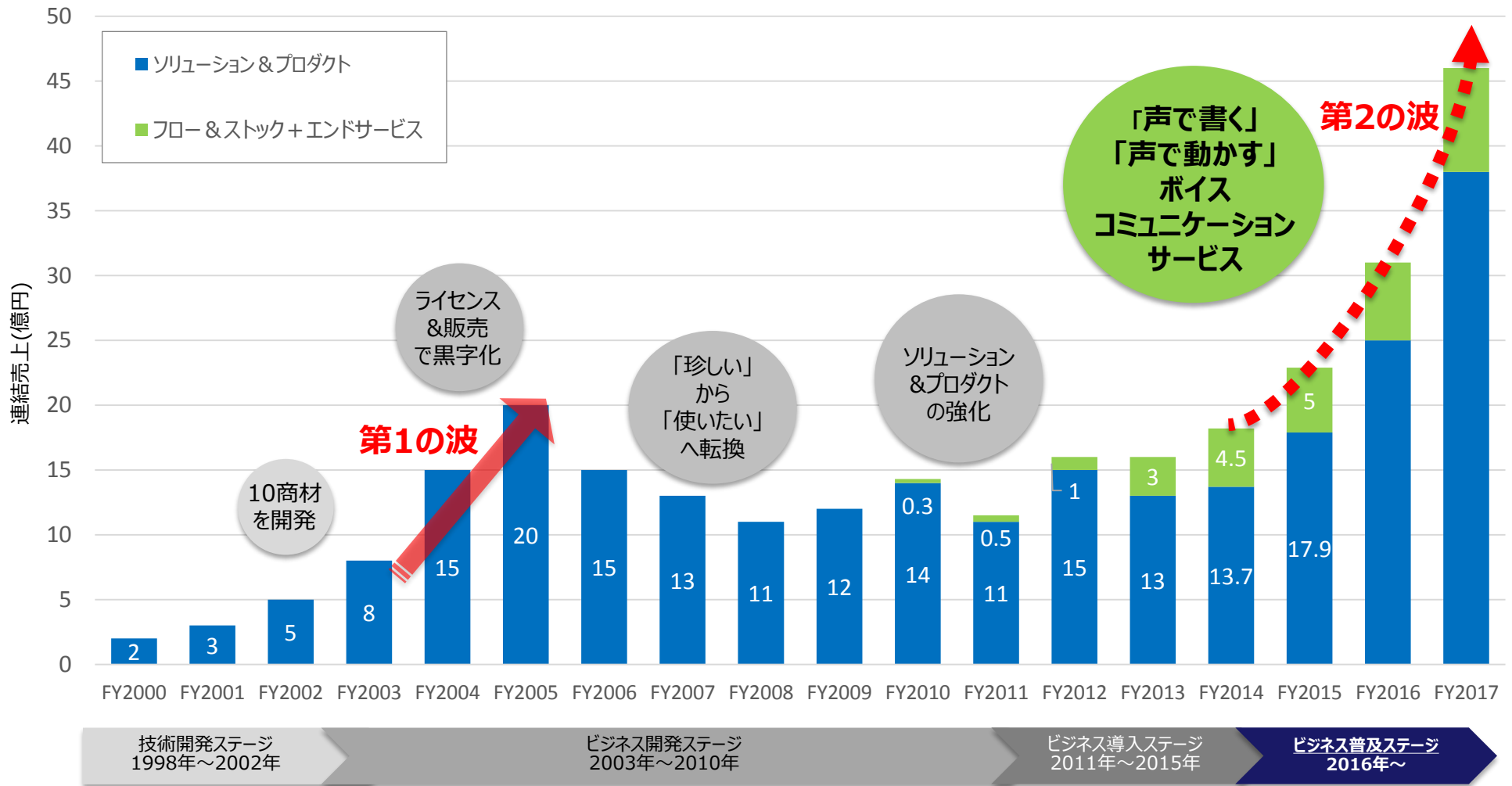


議事録作成や文字起こしが、自治体と並行して民間企業でも拡がり始めた。

製造・物流分野や建築分野で音声入力の需要が顕在化し始めた。

《ほぼ全ての事業部門および子会社において当初計画通りに推移した》

2-8. 売上高のこれまでとこれから



ボイスコミュニケーション・サービスにより「飛躍的な売上増大」へ踏み出す